

来 来 来

本

主也一

直義大人

鑣倉的 支配者們

較之北條世代

年輕了許多

呀
二
好
棒

☆闊步前行的
年輕領袖!!

人物紹介



北条時行

北条家末裔。「逃げ」が武器。常に「いのちだいじに」。



足利尊氏

突如、鎌倉幕府に反旗を翻し滅ぼした。時行の仇。



足利直義

足利尊氏の弟にして片腕。兄と反対に理論派である。

鎌倉百廢待興之際
前來赴任的足利直義

上杉大人

針對城鎮復興
與治安維護
雙管齊下

孫二郎

君一

他的左右手

正是

「關東庇番」

這一組織

翻譯 我不做人了

@

資深郎黨
留在京城
輔佐尊氏

嗷嗷——
哈哈哈哈哈

呀
討厭

而該組織成員
均是肩負
足利一門未來的
青年才俊

簡直無話可說

有些人蒙受過
北條恩惠

卻還不知廉恥地
歡呼

別說刻薄話嘛
澀川殿下

好運和桃花就該
毫不猶豫地接住！

哦哦
岩松殿下
真可怕

居然在重視風紀的
直義大人面前
公然談論女性……

關東庇番眾 一番組組長
澀川義季(20)

關東庇番眾 二番組組長
岩松經家(?)

關東庇番眾 二番組副組長
上杉憲顯(28)



直義大人
已經不復
往常的
一本正經了

服裝也讓我們
自由支配

不
還是一本正經

沒變嗎

這裡若是京城
你們的言行衣著
都得一絲不苟

但如今的鎌倉
另當別論

關東底番眾 寄騎※
斯波孫二郎(13)

※類似助手的職位

北條覆滅

其後
新田的統治
也失敗了

民眾已
無力分辨
哪位統治者
才是正確的





歡迎加入漢化 測試群：648466051

漢化委員會

@



足利手帕
現在好像
特備暢銷
底番商店在賣



唔哈——
好狂熱啊！



兄長尊氏大人
靠人格魅力
征服大眾

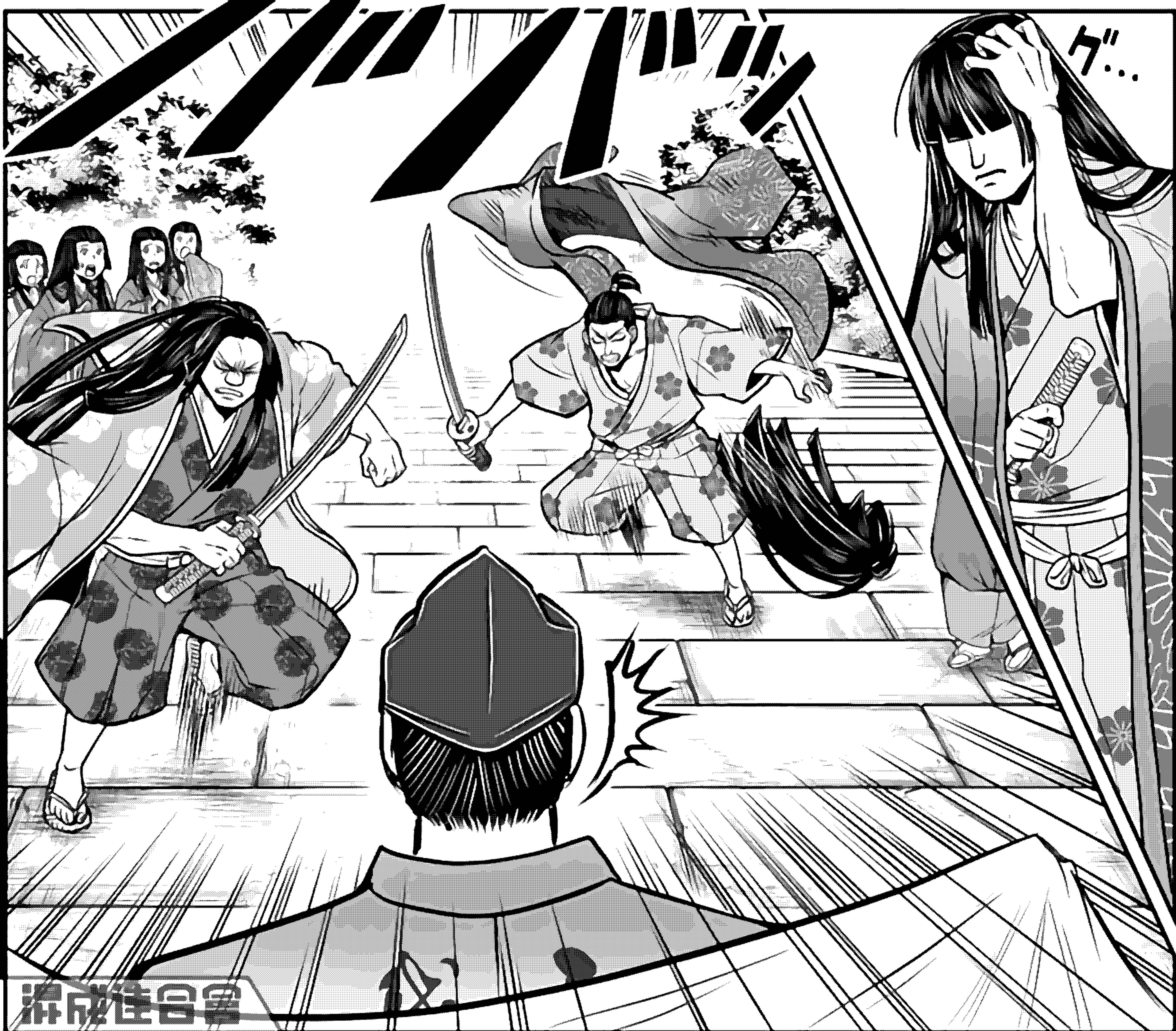


啊啊
太可怕了
這兄弟倆
實在可怕

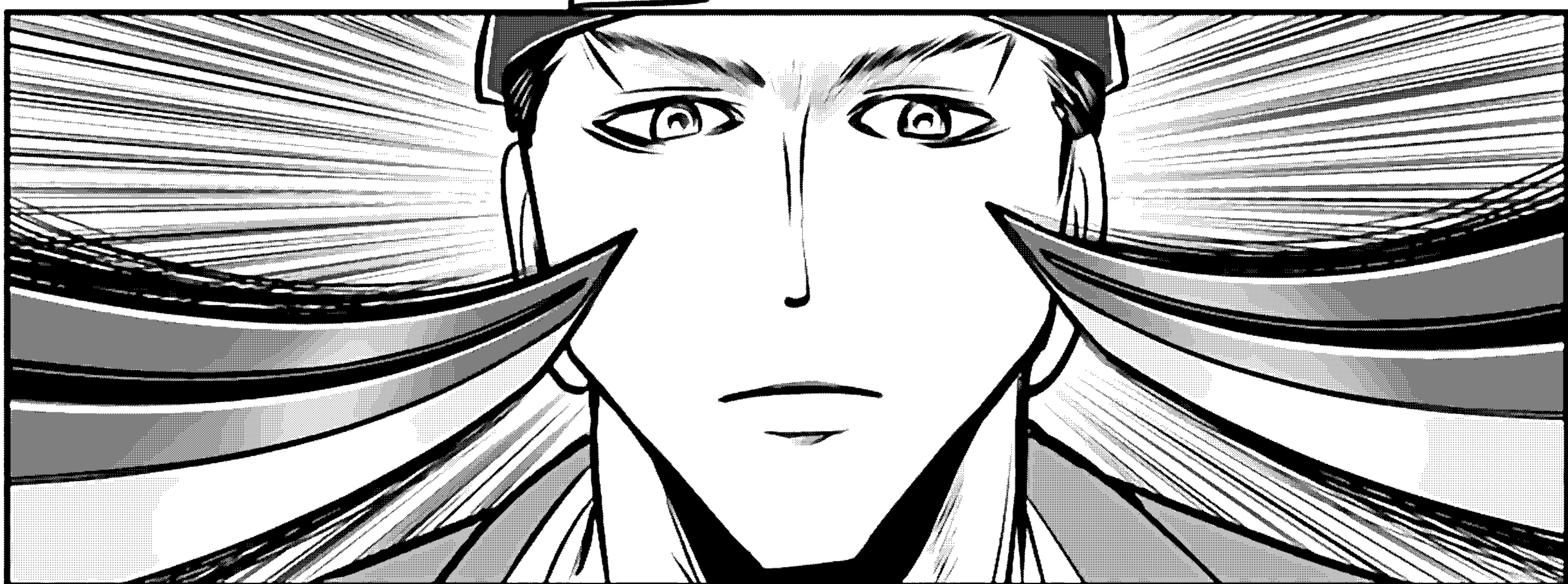


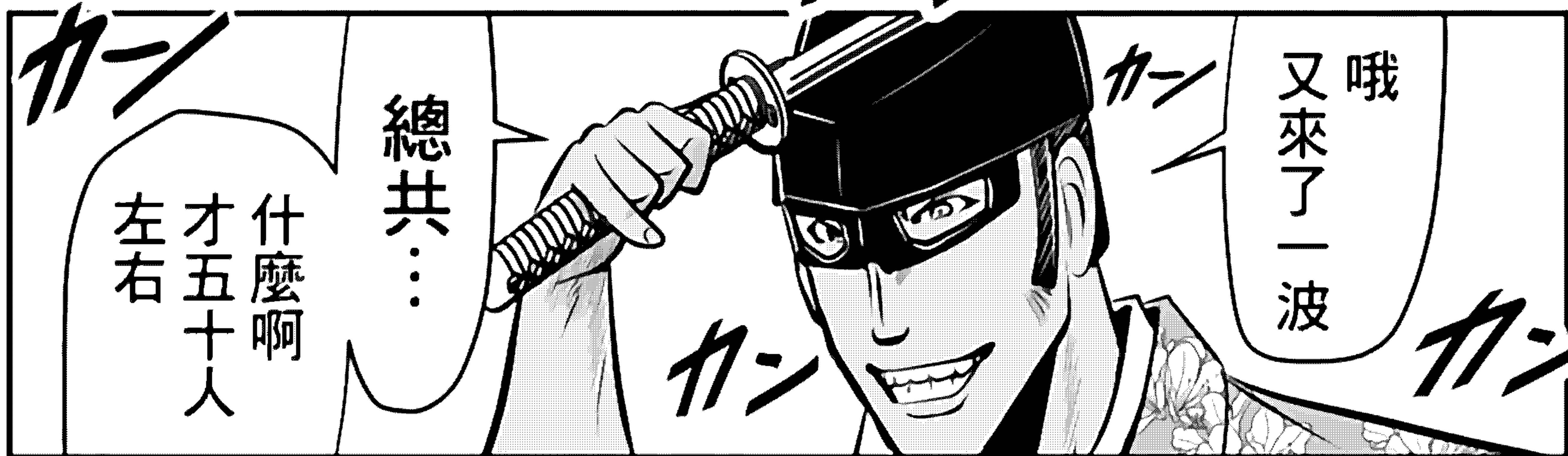
弟弟直義大人
靠神機妙算
攫取民心

手法截然不同
卻能達到
同樣的目的



校對 古々谷殘丘 @







嗯——

大概
還有增援

一開始不是
敲鐘了嗎



對這點人發送
襲擊信號
沒必要弄出
那麼大的聲響



這裡
鶴岡八幡宮是
藏不住鎧武者的……

恐怕是
先讓他們
潛伏在
稍遠的郊外

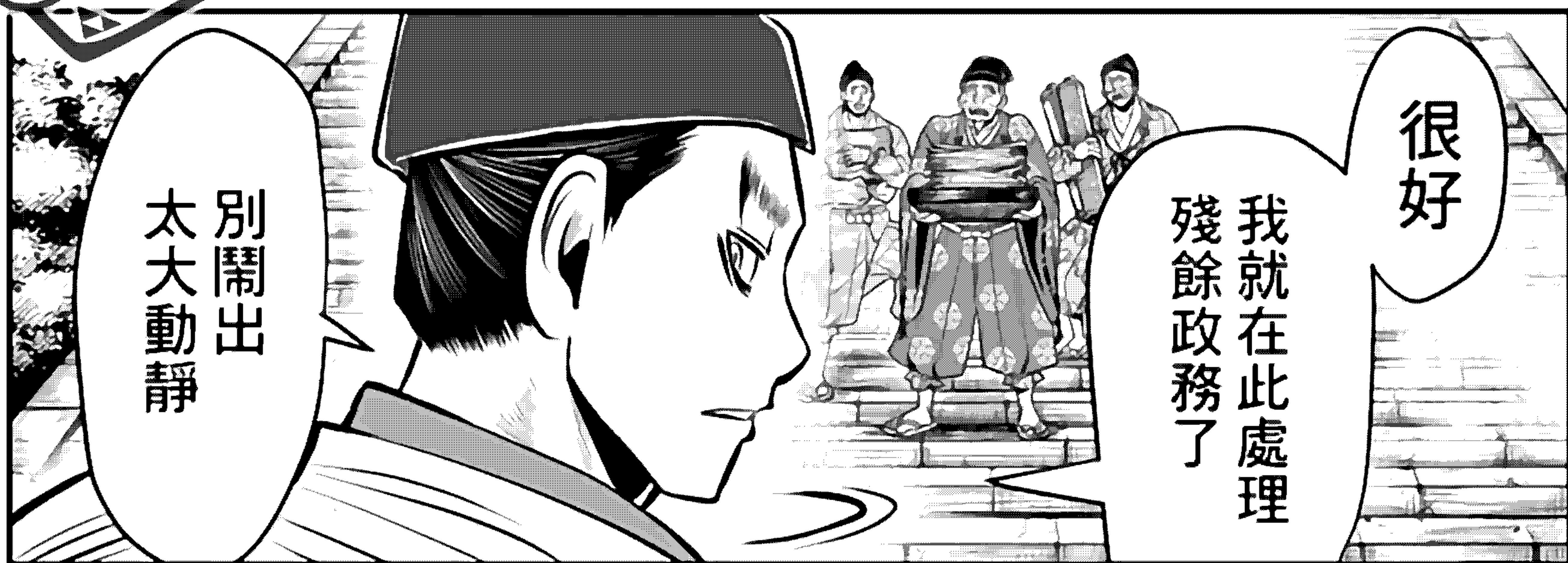
暗殺失敗了
就呼叫他們吧



能聽見鐘聲
且讓軍隊
藏身的方向
是巨福呂坂

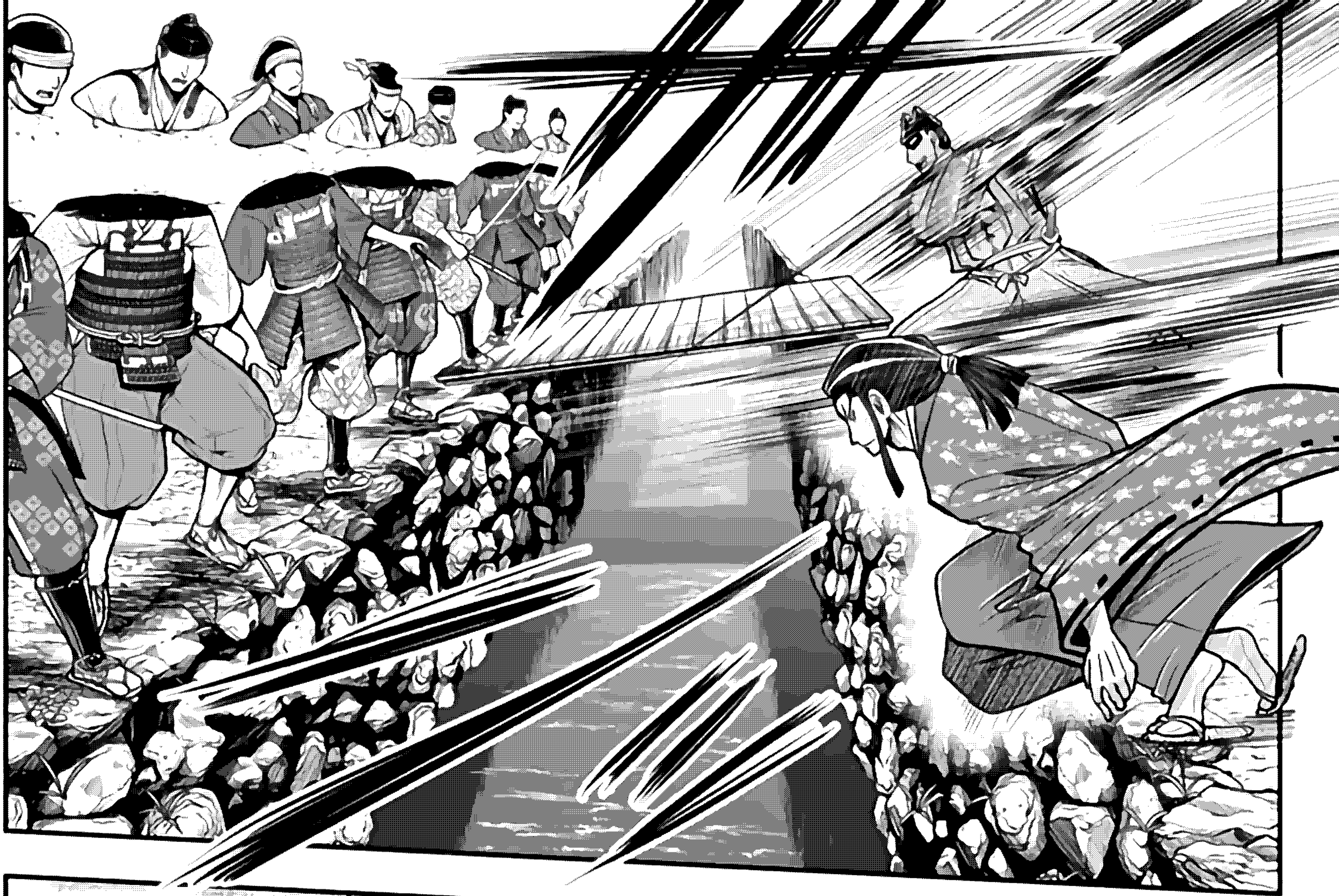
我預想到這種情況
提前挖好了護城河
可以去那裡禦敵











啊啊
太可怕了
與澀川殿下
和岩松殿下為敵
實在可憐

畢竟那兩人
都是怪物啊

不過

我覺得
最可怕的還是
直義大人

去死吧
直義

你看他

坐在差點就要被
箭矢擊中的高度上
若無其事地辦公

並不是膽大
或虛張聲勢
而是一切都
如他所料

キンッ

ガスッ



那位大人
也才二十七歲

牽動
天下局勢的才能
真令人生畏啊

還沒鎮住
大多和莊的
騷亂嗎

六左衛門
是裸體頭草
派兵去恐嚇他

武藏七黨的地權
很混亂啊

那就告訴他們
實地調查後
再作裁定吧

成良宮殿下的
新居室設計圖

要和我
京城樣式匹配
我明天去監修

手帕的
新配色
定好了嗎

五色一組
打九折賣
更聰

孫二郎
向右看
你落下風了

啊是

合佳成

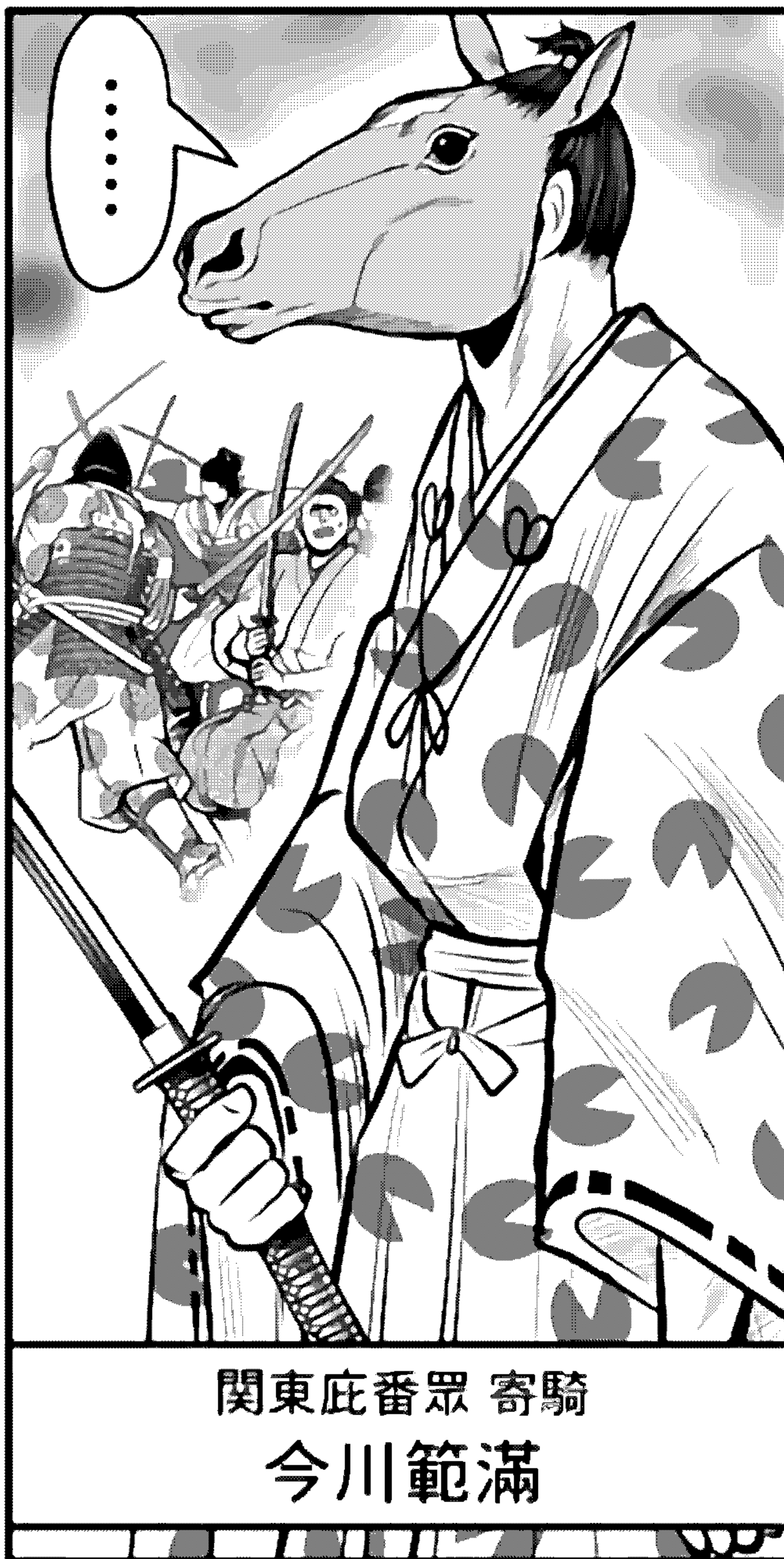
@



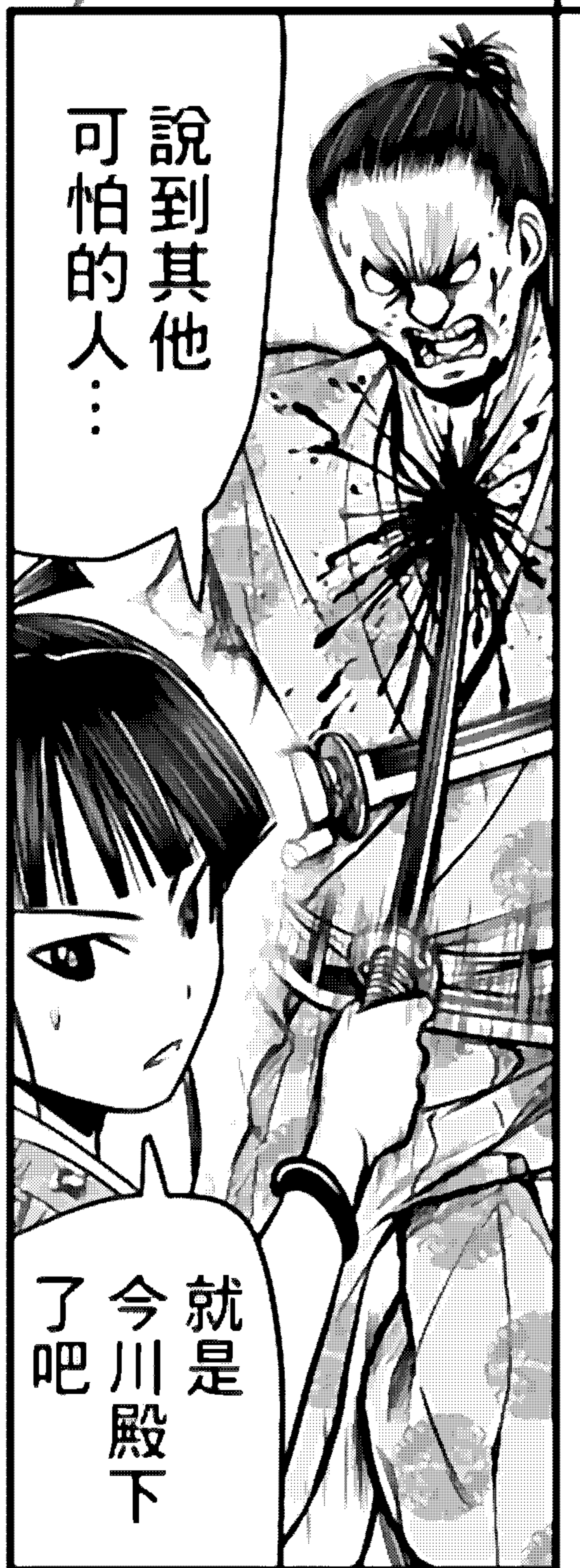
那個頭套
我都沒法
吐槽了

我懂

氣場不容
他人吐槽的人
太可怕了

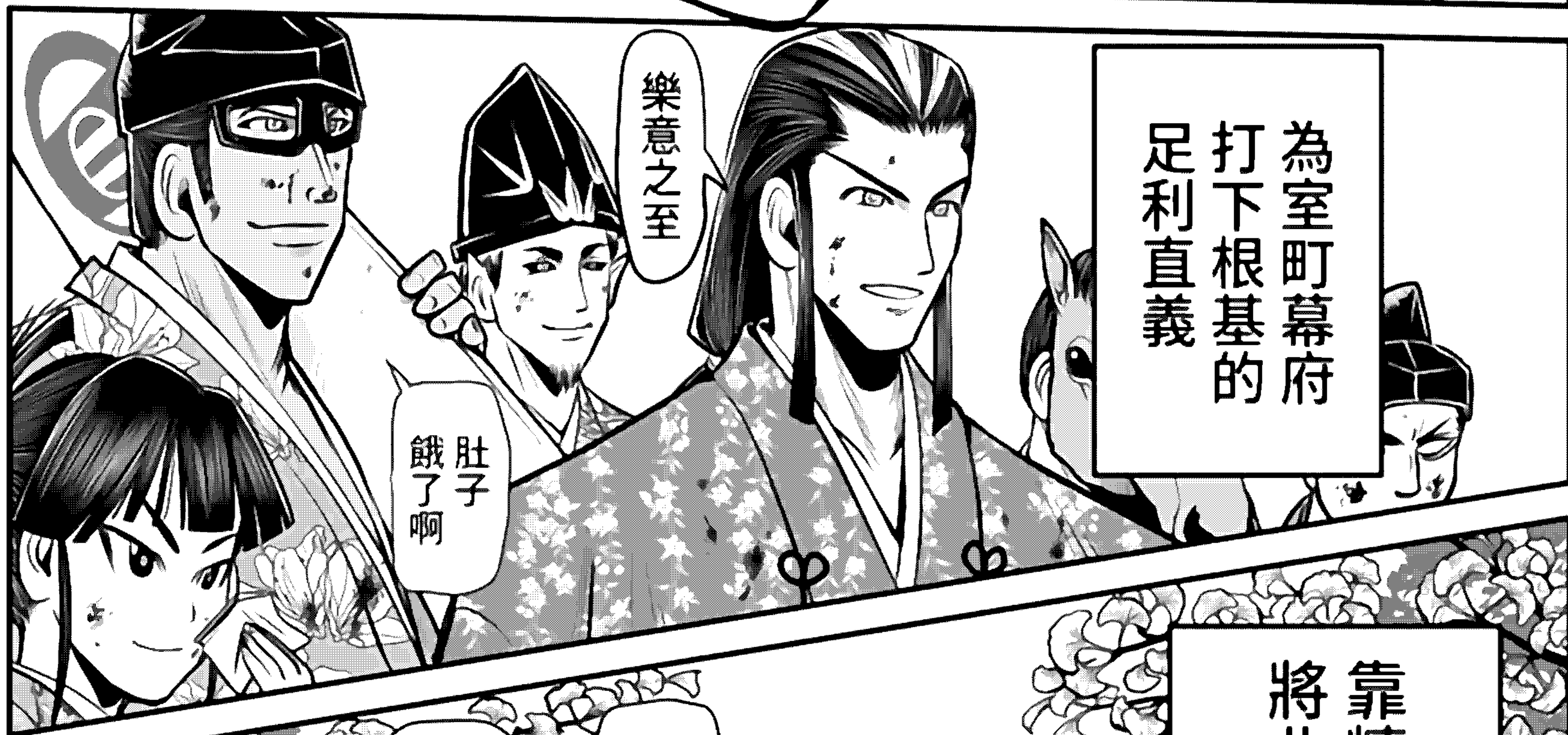


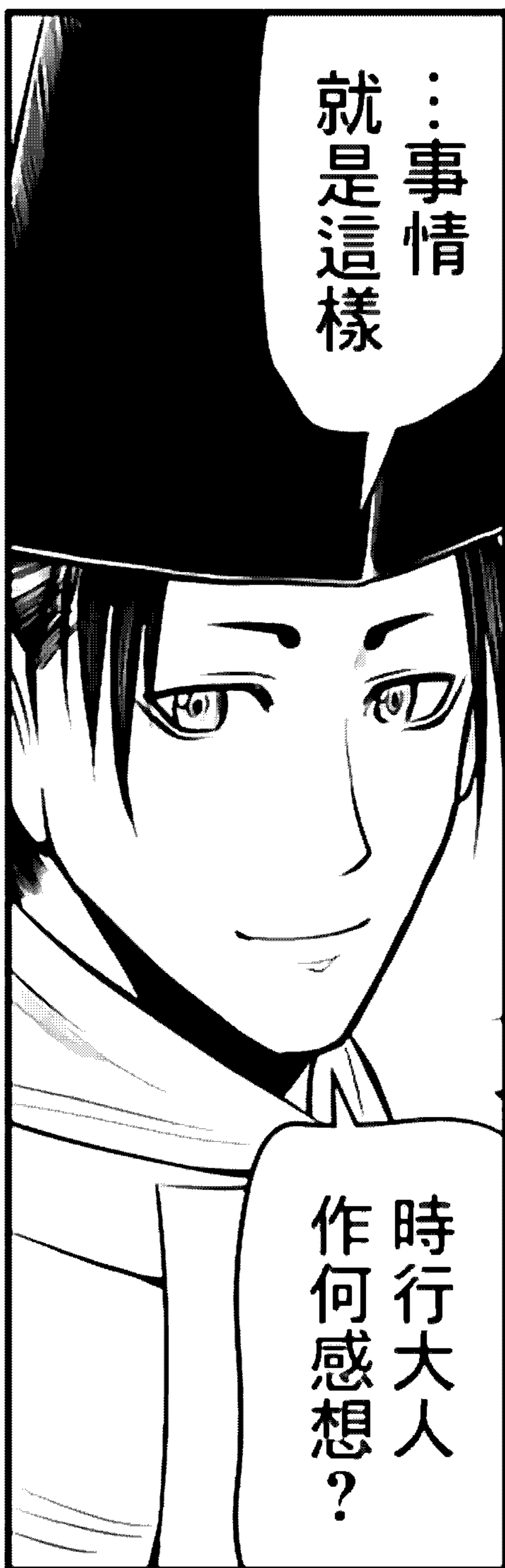
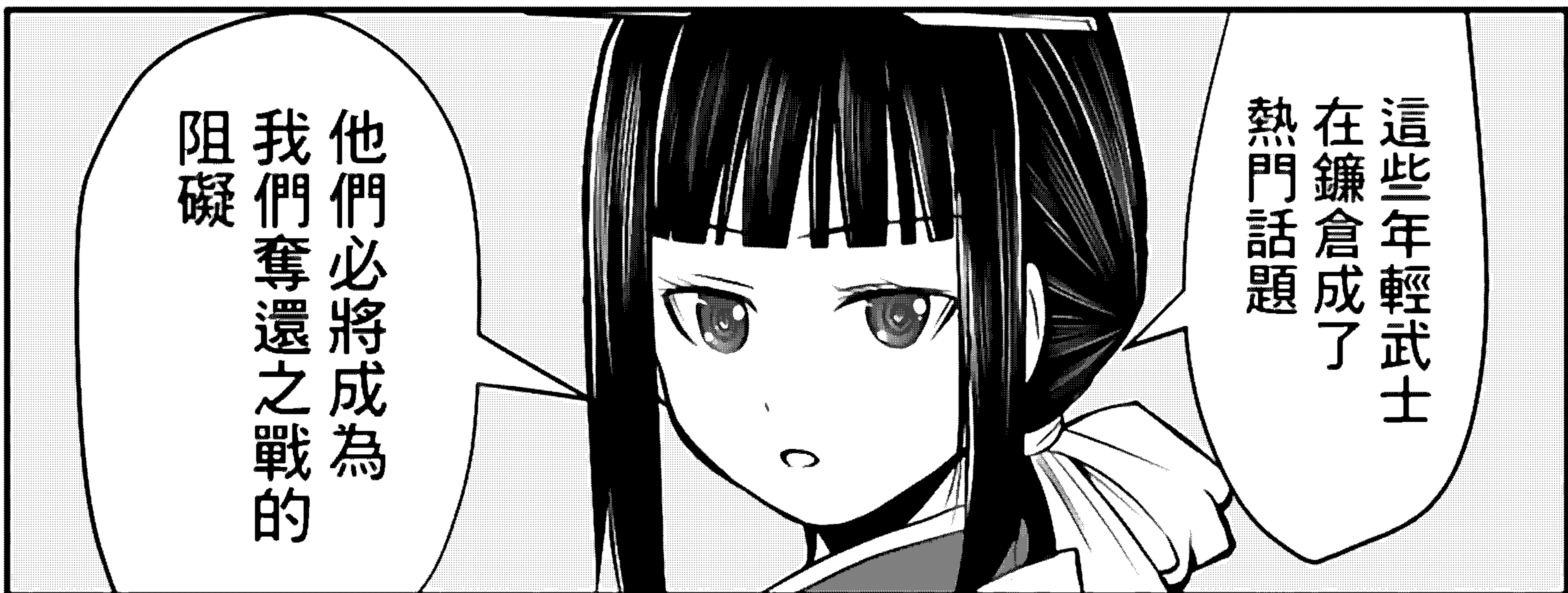
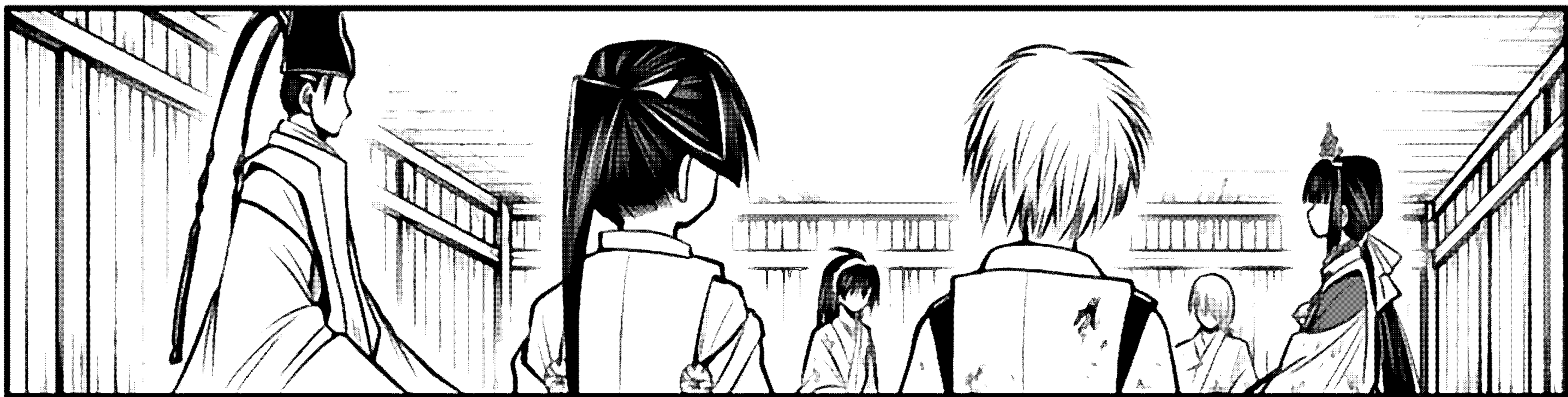
關東底番眾 寄騎
今川範滿



說到其他
可怕的人...

就是
今川殿下
了吧





論年輕
是不會輸的

畢竟
我才九歲

更何況

我對
鎌倉的執念
不遜於
任何強者！

★新生力量的漩渦
劃出時代的流界——。

少主溜得快

第33話

／本話完

解説上手の若君

時行が食べた鯛は内陸では超貴重。海鮮を運ぶのは大仕事！

解説 本郷和人

1960年 亀有生まれ。歴史の研究者である東京大学史料館の教授。おっちゃんといでテレビや雑誌にも出演する。

生鮮食品について

当時の生鮮食品事情を教えて！

源平の戦いでは木曾義仲が源頼朝に先んじて京に入りますが、彼は京都の貴族とのつきあいに失敗して滅びていきます。「平家物語」は猫間中納言の来訪を受け、田舎者丸出しの接待をしたと描写していますが、義仲は中納言に「無塩のヒラタケがあります。さあめしあがれ」とやって機嫌を損ねる。無塩とは塩をふっていない、生で、新鮮な、とれたてのヒラタケの汁があります。と義仲はもてなしたつもり。でも、もつときれいな碗に入れろよ、量が多すぎだろ、なんで松茸じゃないんだ、と中納言はむかつく。



解説を
読んだ!?

それなら
通行料は
いらねえ!

関所の武田兵

まあ、それはそれとして、このエピソードは、京都の人は塩をふって保存したものを食べていないことを示しています。代表は魚であり、サバでしょう。サバは足が早いので有名ですね。生きの良いサバなんてまず食べられない。それから貴族の中に料理の家(四条家)があつて、包丁で魚をさばく儀式をやるのですが、使われるのは新鮮な鯉です。京都には新鮮な海の魚がないんでしょうね。

諏訪は地理的な条件は京都と同じようなものかな。鯉や鮒はいるけど、鯛は入手不可能。ただし、諏訪は京都より歴史が古いので、自然食の宝庫です。木の実や虫などが美味しいです。イナゴ、佃煮にしたらいけます。本編にも出てきましたね(笑)。



兄様
イナゴ
美味しい?

慣れた来た
駿河湾の
サクラエビを
思い出すよ

↑イナゴは栄養価が高いため当時の人たちにとって大事な食料。見た目で敬遠する人も多いかもしれないが食べてみるとイケるかも!?

→前号で時行が食べた生の鯛。掌たちによる一切無駄のないチームワークで魚尻線を超えて諏訪に届けられた!



膳切りに
した鯛に
伊豆のワサビと
醤油ぶっかけて
食べるんだ

卷末語

我沒有

選擇收銀櫃台的天賦。
不論在那個櫃台排隊
總是慢人一步。

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

桐ri
澤澤

測試群

648466051

首發微博

@混成連合會

壽丸滾滾漢化

歡迎加入漢化

順位13 / 21

W J 2 0 2 1 N O 43

第33話

少主溜得快

監製

三十二